

出雲市ゼロカーボンシティ加速化事業 ZEH 補助金

Q & A

Q 1：市の補助金と国の他の補助金と併用することは可能か。

A 1：本事業は環境省の交付金（地域脱炭素・再エネ推進交付金）を活用しています。他の国庫補助金との併用はできません。
なお、島根県単独の補助金の場合は、併用することが可能ですので、お問い合わせください。

Q 2：補助金の交付決定前に着手することは可能か。

A 2：市からの交付決定がない状態で事業着手することはできません。
交付決定を受けた後に事前着手したことが判明した場合は、交付決定を取り消す場合がありますので、ご注意ください。

Q 3：FIT 制度が利用できるか。

A 3：本補助金で導入する再エネ発電設備について、補助金交付要綱で FIT の認定を取得しないこととしているため、余剰電力を含め、FIT 制度を活用し売電することはできません。

Q 4：補助額の算定に用いる「太陽光発電設備最大出力」について、太陽電池モジュールもしくは、パワーコンディショナーいずれの出力値を用いるのが適切か。

A 4：補助額の算定に用いる「太陽光発電設備最大出力」については、太陽電池モジュールの JIS 等に基づく公称最大出力とパワーコンディショナーの定格出力の合計値の低い方を kW 単位で少数点以下を切り捨てた値を用いるのが適切です。

Q 5：蓄電池について、補助対象外となる規定があるのか。

A 5：蓄電池については、蓄電池価格 14.1 万円/kWh（工事費込み・税抜き）を超える蓄電システムは補助対象外となります。

Q 6：補助金交付要綱 別表(第 3 条関係)4 蓄電池(5)に定める「12.5 万円/kWh 以下(工事費込み・税抜き)の蓄電システムとなるよう努めること。」について、どのような取組で本事項を満たすこととなるのか。

A 6：2 者以上の販売事業者から見積書を徴取し、最低価格を提示した事業者の設備を導入することで、本事項を満たすこととします。
なお、12.5 万円 kWh 以下の蓄電システムの導入が困難であった場合は、14.1 万円 kWh を上限とする範囲で補助対象とすることができます。

Q 7：ZEH と太陽光発電設備等の再エネ設備を同時申請する場合、事業計画を作成する上での注意点は。

A 7：ZEH と太陽光発電設備等を同時設置する場合は、再エネ設備と ZEH と切り分けて記入する必要があります。一方で、ZEH で交付対象となる設備に係る経費は、ZEH に包含して記入してください。交付対象設備の例は、以下のとおりです。
 << 交付対象設備の例 >>

項 目	ZEH
再エネ設備	×
蓄電池設備	×
断熱等（例：断熱材、窓及びガラス）	○
空調設備	○
給湯設備	○
換気設備	○
エネマネ（例：H E M S）	○

Q 8：蓄電池について、補助対象外となる規定があるのか。

A 8：蓄電池については、蓄電池価格 14.1 万円/kWh（工事費込み・税抜き）を超える蓄電システムは補助対象外となります。